



舟橋中学校だより

Funahashi Junior High School News

令和5年度 10月号 令和5年10月発行

学校の教育目標

「学び」の精神をもち、仲間を思いやり、たくましく生きる生徒の育成

目指す生徒像

- ふ … ふるさとに根ざし、広い世界に羽ばたく生徒
- な … 仲間を思いやり、相手の立場になって考える生徒
- は … 働くことにやりがいを感じ、心と体の健康に努める生徒
- し … 知る喜び、分かる喜びを求めて学び合う生徒



学校行事予定

《10月》

- 28日(土) 学習発表会・合唱コンクール
- 30日(月) 振替休業
- 31日(火)～教育相談期間(～11/24)

《11月》

- 2日(木) 歯科検診
- 3日(金) 文化の日
村文化祭
- 5日(日) 園むすび(吹奏楽出演)
- 6日(月)～12日(日)
睡眠チェック週間
- 7日(火)、8日(水)
中教研学力調査
- 9日(木) 小6部活動体験(1回目)
- 13日(月) 青少年育成舟橋村村民会議
教養講座「災害被災地を被援して」
- 14日(火) 小6部活動体験(2回目)
- 15日(水)、16日(木)
3年到達確認テスト
- 17日(金) 高校説明会
学習公開
学年懇談会
- 20日(月) 期末評価範囲発表
部停止
- 22日(水) 専門委員会
小中合同学習(中1)
- 23日(木) 勤労感謝の日
- 27日(月)～29日(水)
期末評価



ご意見・ご感想をお寄せください

ホームページ

舟橋中学校

メールアドレス
funahashi-jhs@tym.ed.jp

Failure teaches success. (失敗は成功の一步)



教頭

9月までの厳しい暑さが嘘のように、いつの間にか立山は冠雪し、肌寒さを感じることの多い深秋となりました。今のうちに食欲の秋、芸術の秋、読書の秋、スポーツの秋・・・を満喫したいところです。

さて、2学期以降、体育大会、駅伝大会、中学校文化祭、新人戦や県選手権大会などの大会、様々な学校の内外の場面で、生徒たちの活躍がたくさん見られました。一朝一夕ではなしえない日頃の積み重ね、これまでの努力がいろんな形で表れています。うれしいばかりではなく、くやしい、つらい思いもあったことでしょう。先日、県選手団の一員として県外の大会に参加することの多い生徒に話を聞いたところ、本番でベストを作り出せなかったことへの反省を話してくれました。私にとって想像もつかないような厳しさの中で自分を鍛えているこの生徒の言葉に心が引き締まる思いがしました。また、このような振り返りができるからこそ、成長し続けることができるのだらうとも思いました。日頃、なにか失敗があったときや思い通りにならなかったときに、「～が～だったらうまかったのに・・・」と自分以外の何かや誰かに原因を求めたりすることの多い私ですが、あらためて、自分は何ができて何ができなかったのかを振り返ることが、次の成長につながるのだと思いました。

ところで、学校というところは、チャレンジの場としては最高の場所です。よきライバルがいる、仲間同士の関わりがある、日々新しい学びがある、何度でもトライアル&エラーができることです。生徒会活動、学校行事などで役割をもって共に作り上げる体験をしたり、「14歳の挑戦」やボランティア活動等、学校外で、様々な年齢の方々と共に働く活動をしたような本物の体験は、子ども達を大きく成長させます。「自分でやってみて、考え、学ぶ」ということが実現しているのだと思います。

子ども達を取り巻く環境を考えたとき、大人は子どもが失敗しないように、辛い思いをしないように、うまくいくようにと、子どものために先回りし、あらかじめレールを敷いてしまうことが多いのではないかと思います。しかし、それは本当に子どもの成長に役立っているのかどうか。子どもの立場で考えると、もっとたくさん自分で考えて行動し、その体験の結果を自分でひきうけることに大きな意味があるのだらうと思うのです。

さて、表題は発明王トーマス・エジソンの言葉です。エジソンは竹のフィラメントを発明するのに1万回失敗したそうですが、「私は実験において失敗など一度たりともしていません。これでは電球は光らないという発見を今までに1万回してきたのだ」と語ったそうです。



全ての結果を自分で受け止め、新しい発見として振り返ることができたエジソンの言葉に勇気もらい、生徒と一緒に成長を続けたいと思っています。

オレンジパークの環境整備に取り組んでいます！

中学校では、総合的な学習の時間に「ふるさとの川でつながる環境教育」をテーマに学習しています。小学校時代に「こども公園部長(KKB48)」として公園整備に力を入れてきた3年生は、オレンジパークの環境整備に取り組んでいます。10月13日(金)には、球根を植えたり、ベンチをシンボルカラーのオレンジ色に塗装したりする活動を行いました。活動にあたりご協力いただいた地域の皆様、ありがとうございました。



1学年教室より 「失敗を恐れず、思い切るために」

皆さんは、書き初めや習字の学習時に書き上げた後に修正をした経験はないでしょうか。

人はどうしても気に入らない箇所があれば、こっそりと手を加えたいくなるものです。私もそうです。しかし、たかが文字の一部を塗りつぶすことなのですが、なぜか後ろめたさがつきまとうのは私だけでしょうか。

1学年は保健体育の授業で器械運動領域の「マット運動」を学習しました。普段の生活ではほとんど行わない非日常的な動きに戸惑いやぎこちなさはありましたが、若くて元気活発な生徒たちの習得は早く、見違えるような上達ぶりでした。学習最終日の自由演技発表では、直前まで一生懸命に練習して本番に臨みました。保護者の皆様も体験者でありますからよくご存じかと思いますが、器械運動は演技が始まれば、もう後に戻ることはできません。習字と同じで、一発勝負であり、失敗したらどうしようという迷いがどうしてもつきまといまいます。解決方法の一つとしては、繰り返し練習を積み重ね、自信をもつことでしょう。

さて2学期がスタートして、体育大会、地区新人大会、校外学習、生徒総会、駅伝大会、絵本読み聞かせなど、校内外の数多くの行事をやり終えてきました。それぞれの行事には、習字や器械運動のようにやり直しができないもの、途中失敗しても修正し、協力、励まし合いながらやり遂げるものがあります。数日後に合唱コンクールが実施されます。合唱は指揮者がタクトを振ればもう後戻りできない器械運動と同じです。コンクール当日は1年生全員が自信をもって本番に臨める練習を積み上げ、全員が達成感、満足感、学年の団結感を実感できる行事となることを願います。

【1年副担任】

第2学年教室より 「学習発表会&合唱コンクールに向けて」

中学校生活の折り返し地点を迎え、2年生が中心となって進める後期の生徒会活動がスタートしました。新たな役割に戸惑う姿もみられますが、1学期よりも一層、2年生としての自覚が芽生え、中学校生活をより良くしようという気持ちを抱く生徒が増えたように感じます。



今、10月28日(土)に行われる学習発表会&合唱コンクールに向けた準備を進めています。ステージ発表では、「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」を通して学んだことを、劇を交えながら伝えます。見てくださる方々に自分たちの学びが伝わるよう、シナリオを工夫したり、互いに助言し合いながら演技の仕方を改善したりしています。合唱コンクールの学年スローガンは、「みんなの努力と友情で37人の最優秀賞を勝ちとろう」です。大きな声を響かせて歌う生徒が多く、迫力のある合唱が期待できそうです。本番に向け、さらに表現を工夫し合唱に磨きをかけていきます！

授業や生徒会活動に励むだけでなく、行事を成功させることで、より充実感や達成感を味わえる2学期になるよう、応援しています。

【2年1組担任】

第3学年教室より 最後の合唱コンクール

道、君と歩いた今日まで かすかに動くくちびる 特別な時間をありがとう
「心」「勇気」「友」「笑顔」 嬉しすぎて 溢れ出した 涙が止まらない

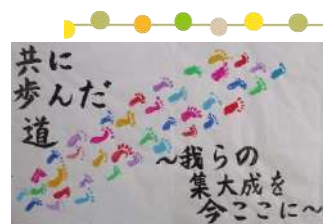
3年生が選んだ自由曲「道」のサビの部分です。学級活動では、歌詞に込められた思いや連想するイメージを話し合いました。

生徒の感想

- 友との出会いや別れなど、人生の分岐点となるような場面が歌詞に多くあると考えた。「当たり前が未来に変わる」というフレーズから、戻れない過去を懐かしみ、今を大切に生きていきたい、という思いを感じた。これからは、ただ強弱記号を意識するだけでなく、今回の時間に一人一人が出した案を参考にして、工夫を加えて歌っていきたい
- もう少しで卒業して別々の道を進むクラスの皆との、出会いを喜ぶ気持ちと、別れることの寂しさをもって歌いたい。皆との思い出を噛みしめて歌いたい。

原曲は2007年冬に流行した歌謡曲で、当時高校生だった私にとって思い出の楽曲でもあります。あれから16年がたった今、ここ舟橋中学校で重なり合った人生の「道」。そうした思いを巡らせながら、生徒たちが合唱として歌い上げていく姿を見守っています。

来る10月28日(土)、このメンバーで歌う最後の合唱コンクール。豊かな感性や表現力と、一人一人の声が合わさって生まれるハーモニーで、聴く人の心を揺さぶります。これまでの道と、これからの道、3年生が思い描き奏でる「道」を聴きにいらしてください。



【3年1組担任】